

新しい委員会の構成

常任委員会が
4委員会から3委員会
に変わりました！

文教厚生委員会



前列 ○ 箴島 かつおる
後列 ◎ 川野 栄美子
◎ 石橋 忠敏
◎ 池末 秀夫
◎ 古賀 光子
◎ 岡 秀昭

総務委員会



前列 ○ 古賀 龍彦
後列 ◎ 永島 守
◎ 吉川 一寿
◎ 中村 博満
◎ 石橋 正毫
◎ 井口 嘉生

議会運営委員会

◎ 福永 寛 ○ 古賀 龍彦
◎ 永島 守 ◎ 川野 栄美子
◎ 古賀 光子 ◎ 今村 幸稔

広報委員会

◎ 箴島 かつおる ○ 吉川 一寿
◎ 岡 秀昭 ◎ 水落 常志

◎＝委員長 ○＝副委員長

※石橋忠敏議員は、大川市長選挙に立候補されたため、平成25年6月23日に議員辞職となりました。

産業建設委員会



前列 ○ 福永 寛
後列 ◎ 今村 幸稔
◎ 水落 常志
◎ 内藤 栄治
◎ 平木 一朗

編集後記

大川市長選の結果、鳩山二郎氏が圧倒的多数の票を得て、34歳の若さで市長となりました。

今後の大川市の振興を目指してトップセールスを展開していただけると期待しております。

今や文壇の重鎮ともいえる五木寛之氏が八女高校を卒業する時（昭和27年）五木少年が進学就職か思い悩んでいた時に、教師であった父親から「これからの時代は学歴よりも技術だ。大川に行つて家具職人の見習いになれ」と強く勧められたのだそうです。（五木寛之著「人間の関係」より）

結局、五木少年は早稲田大学に進学し、現在の五木寛之があるのですが、その当時、大川の家具職人の地位や収入がいかに高かったのかがい知れます。だからこそ近隣から優秀な人材が大川に流入し、その後の大川市の繁栄を担ったのでしょう。

大川市の衰退を憂うばかりでなく、人材の流入を促す振興策が是非とも必要です。（箴島）

広報委員会

委員長 箴島 かつおる、副委員長 吉川 一寿

岡 秀昭、水落 常志